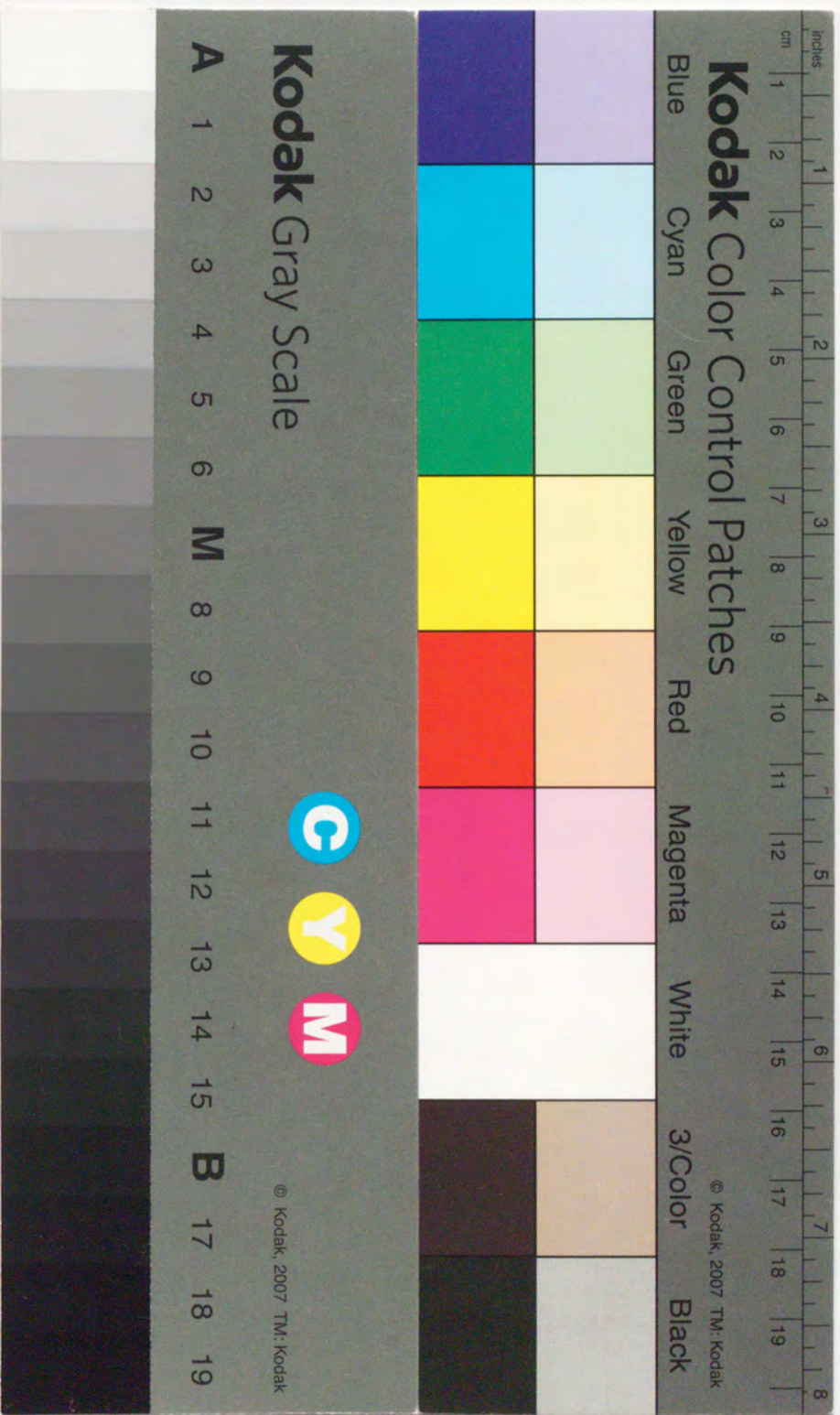




上冊群馬歌

池田

神保正情



序

蓋長言以詠其義謂
之歌也歌之有益
教化尚矣詩曰文也
不良歌以訊之友

人之道成端於彝倫
故其學之必自孝弟
始恒雖不敏刀圭之
賜撮孝弟忠信礼義
庶恥等之意編以俚

語名曰索綯歌田野
之童蒙胡詠夕歌終
感其義則庶幾乎有
小補于風化覆瓿之
訓所不顧也

寛政己未秋分日

上毛 石田恒撰



玄陶歎

天地網羅万物記一て

男女攝精化生とあせり

中よりき程人あそ

利用厚生又うのうへに

不^ご偏^{へん}五^ご常^{じょう}乃^{なり}友^{とも}を^を復^{また}く
孝^{こう}は^は至^し徳^{とく}要^{やう}道^{だう}な^なれ^れむ
よ^よろ^ろづ^づ友^{とも}も^も存^{ぞん}じ^じり^り生^{せい}ず
父^ふ母^ぼは^は更^{さら}う^うる^る金^{まね}こ^これ^れ方^{かた}
教^{あへ}て^て毀^{うご}ひ^ひ傷^{やぶ}ら^らぬ^ぬや^やう^う耳^{みみ}

常^{つね}小^こ謹^{ちん}と^と家^け果^みと^とつ^つと^とめ
用^{もち}を^を前^{まへ}に^にじ^じり^り減^{へん}ふ^ふさ^さず
父^ふ母^ぼを^を敬^{うやま}ひ^ひ孝^{こう}養^{やう}致^{いた}せ
他^た所^{しょ}へ^へお^おほ^ほに^に必^{かならず}告^{つげ}よ
西^{にし}の^の方^{かた}易^{やす}む

時^{とき}も色^{いろ}あはれ懐^{かへ}きて見え
親^{おや}れんやあ^{やす}ううめよ
父^{ちち}は慈^{あはれ}ふて子^こを存^{ぞん}すれば
家^け内^{ない}正^{ただ}しく親^{おや}み厚^{あつ}し
父^ふ母^ぼの慈^{あはれ}をい^いづく
薄^{うす}くも

わきには存^{ぞん}じ力^{ちから}をほくせ
むし虞^ぐ舜^{しん}の大^{たい}孝^{こう}なるも
又^ふ母^ぼにゆ^えれぬ愛^{あい}ありさ
されど孝^{こう}の急^{いそ}らあまは
ほ^{のち}よろれ地^ち雲^{うん}居^おり歩^あへ

はいふ帝乃位を得たり
も父母道あり
ありやうげ孫傳致せ
父は子れこめ子と父のた免
あきしとなは限るるよ

父に事ふあらをうけし
君を敬ひ忠義致すくせ
礼儀三百威儀三千
敬れ一字よと傳ふとぞ
夫婦中ふを別あるに

礼^{れい}もこれより始^{はじ}まるぞ
初^{はつ}めて義^ぎあるハ夫^{そと}乃^{すなは}るよ
妻^{つま}は貞^{てい}正^{せい}その柔^{やう}り
順^{じゆん}と守^{まも}るて醫^い姑^こに
父^ふ母^ぼれく小^{せう}孝^{かう}養^{よう}をせ

よろづ夫^{そと}に承^{うけ}けたて
外^{ほろ}を言^いすは内^{ない}事^じを知^しよ
婦^ふ人^{にん}外^{ぐわい}より誠^{まこと}より志^しゆ忍^{にん}に
家^{いへ}を敗^{やぶ}し例^{たとひ}も有^あり
これな牝^め鷄^{とり}の晨^{あした}は鳴^{なけ}は

ニハトリ

家に福ふくきをとりたふ
兄あにふけりつよ弟たもをせ
いろせいろとが帰かへ友ともあれば
兄あに一ひとく弟たもよを互あひし
長ちやうと幼ことの席せきもあるぞ
ヲサ
ヲサナレ

友ともと交まじりた伝でんるをよ
信しんがなれば弟たもがね
伝でんは扇あふぎれ要うなめのバ
うろ正直しやうじき智恵ちえあふ友ともと
己おのかあまを誅いさむる人ひとを

つ祿に吏りり益有とぞ
朋小不善の初ひあはば
己か忠心にほくして告よ
あのはわれども教ふれむ
終は疏まき遠ざけらる

人の祿と言ざるものは
疾で醫藥を憎ぐは
己かんり欲をぬ事と
人此爲にも縁ふを不
己かかんりみれば

人^{ひと}乃^の欲^{よく}悪^{わる}も自^じ然^{ぜん}と知^しる
 是^{これ}が^がい^いを^をあ^あら^らわ^わぬ^ぬの^の乃^のよ
 ん^んて^て人^{ひと}よハ^ハ種^{しゆ}類^{るい}を^をさ^さる
 何^{なん}れ^れ何^{なん}の^の浦^う山^{やま}人^{ひと}を
 生^うま^まれ^れふ^ふ時^{とき}そ^それ^れ等^と同^{どう}し

されど^{ちやう}も^{ヒナリ}ドて^い吳^{ぶく}僂^ぐよ^さる^る
 教^{しやう}へ^こ辱^{しやう}く^い呻^うな^なは^は化^{くわ}成^{じやう}す
 習^{しやう}ひ^ひ悞^ごふ^ふく^く自^じ然^{ぜん}の^のど^どし^し
 士^し農^{のう}工^{こう}高^{かう}ろ^ろ乃^の家^いく^くれ^れ
 己^{たのれ}く^くが^が職^{しやく}分^{ぶん}か^かめ^め禮^{れい}は^は

それを勤て他と羨むな
おもふ所もすぐ一とらに
己がおす處を所と思へ
家果勤て餘力をあづば
聖賢者の書をもよおさば
セイジン ケンジン

学をおもひに原くあれど
舌を食はず夜も眠らむよ
焼く男は益なきとぞ
急ぎ申しは現學にあり
おもひて夕べなり

そひあふて描けふと記ハ
つ内にそれ乃めかなるる
義理を願へにあふやこそ
賢も不肖も皆君子あり
すの光陰曠うよるな
ヒカリノカテ

今日れ月日の復来らぬは
川乃流忠くらぬく
小ありとも為されば成す
よる川藝能學文とてても
ち誅に取むるありを
まこともと

爲ておさるるころあね
そと人性は愚であらと
人の三つびで能く事ハ
已百たび千度もれせよ
勉強てやまふとにそ

姉にありと賢志と同じ
賢けれども務ぬれは
愚志の務て習ふとあり
さきと無益乃遊藝を
ぬれば用事れ妨ならう

あて言^{げん}の^き子^この^す極^き機^き
辱^{はぢ}も^ほ答^{こた}を^をられ^らる^る
言^{こと}を^を願^{ねが}ふ^ふとき^{とき}は
初^{はつ}と^と言^{こと}と^とが^がお^お應^おず^ずる^るぞ
あ^あに^に定^{さだ}め^めよ^よ万^{よろ}れ^れる^るを^を

を^をふ^ふか^かり^りば^ば近^{きん}憂^うる^るぞ
事^{こと}小^こ條^{じょう}て^て孫^{そん}る^るは^はた^たそ
吾^{われ}も^も遷^{うつ}れ^れよ^よ此^こを^を改^{あらた}め^めよ
誰^{たれ}も^もあ^あま^まう^うと^とあ^あか^からん^んや
そ^そや^やく^く改^{あらた}免^{めん}正^{せい}を^をが^が賢^{けん}者^{しゃ}

人の過失をわが戒めろ
アヤミチ
 耳に聞べー口よひふ
 人れ善よば我師となせよ
 取と捨るハ義をよく思へ
おも
 欲は速へば患をまひく
うれ

不義乃富貴ハ浮べる雲れ
ふぎ
 有と思へば消ぶごとく
あり
 貧は君子の憲ぬところ
ひん
 力あへばつや色うなひぞ
つよ
 礼々家紋れ有せにうふ
れい
タカラ
アル
チ

富^{トミ}貴^{タカ}賢^{サト}讓^{イハレ}るれ相^{アイ}應^{オウ}ず
入^{イル}と量^{リヤウ}て出^{イダ}すがよいぞ
餘^{アマリ}有^{アリ}と毛^モ恰^{ニギ}なばおもむ
我^{われ}強^{ツヨク}約^{ヨク}て人^{ひと}をもめぐ免^メ
儉^{けん}と吝^{りん}の差^さおと知^しれよ
シラシ シハヒ タカヒ

材^{さい}とをて礼^れ義^ぎを忘^{わす}れ
之^{これ}強^{ツヨク}吝^{りん}とくいやーむ所^{ところ}
惡^{あく}衣^い惡^{あく}食^し恥^ちふり足^たす
不^ふ仁^{にん}不^ふ義^ぎをバ恥^ちべきとよ
吾^{われ}に礼^れ義^ぎの惡^{わる}みくは
アレキ キモノ アレキ タモノ アレキ タモノ アレキ タモノ アレキ タモノ

人^{ひと}乃^{こと}言^{こと}れと悔^{うれ}とあるな
死^し生^{せい}窮^{きう}をこかて^{えん}あ^{めい}よ
己^{おの}が^か厭^{ねい}に^{うか}適^{うか}いぬとも
人^{ひと}小^{もと}求^{もと}めず身^こよ^{もと}求^{もと}むれば
天^{てん}と人^{ひと}と^う然^うもせぬぞ

貴^き賤^{せん}貧^{ひん}富^ふも天^{てん}命^{めい}お^もむと
乃^{つね}に^う変^からぬあ^ははあ^すす
天^{てん}れ^し賞^{しやう}罰^{ばつ}あ^るを^を畏^をろ^うーや
善^{ぜん}と^し貴^きと^し福^{ふく}く^だし
魚^うを^を罰^{ばつ}ーて^わ禍^{わざはひ}と^らる^ろう

人^{ひと}は知^しずと陰^{いん}埴^はあれば
て乃^な識^しゆ惡^{あく}陽^{やう}報^{ほう}あるぞ
されむ独^{ひとり}を悔^{くわい}むとよ
惡^{あく}を小^ことて爲^なすとすれ
善^{ぜん}は小^こすも多^なす爲^なよ

小^こがつちりて大^{だい}に在^あいたる
吾^{われ}が積^つれば餘^よ慶^{けい}のきあり
惡^{あく}が積^つむを餘^よ殃^{あや}がいにす
餘^よ善^い餘^よ殃^{あや}は子^こ孫^{そん}の福^{ふく}福^{ふく}
家^{いへ}とくれ一身^{いしん}を脩^{しゆ}るも

ん正しく保つてよ
中に誠乃んがあれは
外は見れ人ふも知らる
吾方正しくおこふと
妻子眷属みかゝるふ
ウマコ

已曲ればあ子もまづ
親れ親にたふ
凡物満まばわくふ
海と物とバ換ておれ
善し伐か自満とふな

人^{ひと}と争^{あわう}あらずをやめて
人^{ひと}小^ち譲^{やう}りて力^{ちから}残^{のこ}れ
讓^{えん}と讓^{やう}とは君子^{くんし}の徳^{とく}ぞ
仁^{にん}義^ぎ礼^{れい}信^{しん}にこまふとも
孝^{かう}と悌^{てい}より始^{はじ}まることぞ

昼^{ひる}のくさらずあはれふ宵^よも
日^ひにうさへはうれしき益^{えき}ありて
家^{いへ}を治^{とさ}まり身^みも安^{あん}樂^{らく}ふ
子^こ孫^{そん}あまた世^{せい}に福^{ふく}禄^{ろく}寿^{しう}考^{かう}
コ^コニ^ニゴ^ゴナ^ナカ^カクヨ^ヨミ^ミサイ^{サイ}ハ^ハヒ^ヒアリ^{アリ}イ^イノ^ノナ^ナナ^ナガ^ガシ

宗^{そう}陶^{たう}子^し終^{しう}

寛政五年癸丑且月良辰

上毛

石田恒

玄圭著

乙

寛政十一巳未年冬至日梓

江戸池之端仲町

發行所

須原屋伊八

上冊

神保氏